

## (別紙) 受賞の概要

### ■協働部門賞 (6件14団体)

部門名	活動名	団体名	活動概要及び評価
NPO・ボランティアと 企業・団体の部 (4件9団体)	お産、子育て支援、育児相談 を通じた地域づくり	九州バースセンターサポーターの会	助産院「うばがふところ」と病院が連携し、子育てを経験した地域の人たち（サポーター）の力を借りながら、お産ができる施設がない地域で安心して出産できる場所づくりに取り組んでいる。 「うばがふところ」は医師の指示のもと、助産師が中心となって運営している分娩施設であり、子育てを経験した地域のサポーター（九州バースセンターサポーターの会）が、ボランティアとしてその運営を支えるとともに、妊婦の産前産後のケアに24時間体制で取り組んでいる。 今回の活動は、地域のサポーターと助産院、病院の3者がともに支えあいながら活動をしている先進的な取組であり、協働のモデルとして高く評価される。
		九州バースセンター「うばがふところ」	
		福岡新水巻病院・周産期センター産科	
	公開講座による筑後川流域ボ ランティア学芸員の養成	筑後川まるごと博物館運営委員会	筑後川流域の環境や歴史風土などを市民に伝えるための公開講座を通じ、筑後川流域のボランティア活動を支える人材を幅広く養成する活動。 久留米大学が場所の提供と講座の開設を行い、筑後川まるごと博物館運営委員会が講座の企画・運営や講師派遣を務める。10年間で延べ25,300人が受講し、多くの市民の筑後川流域への関心を高めるとともに、独自のボランティア学芸員認定制度を設け、これまでに55人を学芸員を養成してきた。学芸員は流域における観光案内や小学校の特別講師など、筑後川の魅力を伝える活動を行っている。NPOと大学の持つそれぞれの専門性を活かし、大学というフィールドを有効に活用した先駆的な取組として高く評価される。
		久留米大学経済学部	
	ハーブガーデンづくりを通じた 個性ある人材の育成	特定非営利活動法人グラウンドワー ク福岡	福岡視覚特別支援学校の生徒たちとハーブガーデンづくりを行うことで、アロマセラピー等の技能を習得した個性ある人材を育成し、生徒たちの将来の職域を広げる取組。 グラウンドワーク福岡は運営全般を担い、パナソニックシステムネットワークス株式会社は資金提供と社員のボランティア参加を実施。担当者が変わっても継続的に協働して取り組めるための仕組みとして、「協働アクションプラン確認書」を考案。毎年度お互いの役割を確認することで、4年間にわたり協働が継続しており、今後様々な業種の企業とNPOとが協働を進める上でモデルとなる手法が高く評価される。
パナソニックシステムネットワークス 株式会社			
パッチワークの森づくり	さんそんじゅく 山村塾	荒廃したスギ・ヒノキの針葉樹林を、環境面の負荷が少ない区画単位での整備を行い、広葉樹を植林することで森を再生させる取組。 山村塾が森林整備に関する技術・経験を活かし、KDDI株式会社が資金提供・ボランティア参加を行うことで675㎡の荒廃林伐採、139本の植林及び1,575㎡の下草刈りが実現できた。それぞれの主体が持つ専門性等を活かし、豊かな生態系の森を次世代に残す取組として高く評価される。	
	KDDI株式会社九州総支社		
NPO・ボランティアと 行政の部 (2件5団体)	日本発プログラミング言語 「Ruby」の普及と人材育成活 動	特定非営利活動法人Rubyビジネス・ コモンズ	生産性が高く、技術の習得が比較的容易なコンピュータプログラミング言語であるRubyの普及により、IT企業を中心とした県内企業の産業振興を図る取組。 参加者5,000人、会員700人を超えるRubyビジネス・コモンズの定期的な勉強会による人材育成と、「福岡Rubyビジネス拠点推進会議」の立ち上げなど県のビジネス振興への取組の相乗効果により、県内でRubyを活用した自社製品開発企業が70社を超えるなど、それぞれの専門性を生かした取組が高く評価される。
	福岡県商工部商工政策課		
ひきこもり青年社会参加支援 事業		特定非営利活動法人JACFA	ひきこもり者の社会参加へ向けた支援の取組。行政だけでは実態がつかみにくい「ひきこもり」の問題に関し、NPOのノウハウと3者のネットワークを活用することで、ひきこもり当事者への実態調査や居場所づくり、ニーズに合った回復セミナーを実施。この取組により、12人ものひきこもり青年に社会参加に向けた前向きな変化が見られた。ひきこもりの実態を把握し、効果的な事業を実現したことを踏まえ、福岡市が「ひきこもり成年地域支援センター」を開設するなど、協働の取組が進化している点が高く評価される。
		福岡「楠の会」	
		福岡市精神保健福祉センター	

■ 地域貢献活動部門賞（10件10団体）

部門名	活動名	団体名	活動概要及び評価
NPO・ボランティアの部 (5件5団体)	車椅子レクダンスを活用した地域活性化事業	特定非営利活動法人車椅子レクダンス普及会	車椅子レクダンスを通じ、障害者も高齢者も余暇を楽しめる社会の実現を目指す取組。 車椅子に乗っていても気軽に楽しめるレクレーションダンスを生みだし、16年間にわたる無償ボランティア活動を通じて、久留米を拠点として、現在では全国369の支部と7,500人のインストラクターを養成しているその活動は、他に類を見ず、高く評価される。
	湿地保全による生物多様性の継承活動	NPO法人ふくおか湿地保全研究会	河川開発等により減少する湿地の保全活動により、希少鳥類等を守る取組。 生物・環境変化の調査データをもとに地域の人々と協議を重ね、十分な理解を得てから行政や企業に対し環境保全提案を進めることで、啓発看板の設置、鳥類の休息場の移設など希少鳥類の保全につながる取組が実施できており、この着実な取組は高く評価される。
	青少年健全育成を通じた地域一体化・活性化事業	NPO法人南陵塾 <small>なんりょうじゅく</small>	25年間積み重ねてきた「和太鼓演奏」を通しての青少年育成の取組。 その活動は和太鼓演奏にとどまらず、通学合宿や野外レクレーションの活動等を100人を超えるボランティアが支え、地域が一体となって取り組むことで、不登校児童が通学できるようになるなど、地域における青少年育成の取組として高く評価される。
	聴覚障害があっても音楽が楽しめるボディパーカッション教育の普及	特定非営利活動法人ボディパーカッション協会	聴覚障害があっても、手拍子・足踏み・体の一部を叩くなど、リズムをとることで音楽が楽しめるボディパーカッション教育の普及を目指す取組。25年間にわたり久留米から全国に活動を発信し続けており、今では、聴覚障害者に限らず高齢者等にも親しまれ、高齢者施設等でも幅広く取り入れられるなどその活動は広がりを見せており、全国的にも先駆的な取組として高く評価される。
	都会の身近な海と風の学校	特定非営利活動法人福岡海浜スポーツ振興協会	自然体験や、カヌー・ウインドサーフィン等のマリンスポーツを通じた青少年の健全育成の取組。 親子でウインドサーフィン等を楽しむ体験教室には、小中学生を中心に年間約350人もの参加者があり、海と触れ合うことで地域の子どもたちが助け合いや生きる力を学ぶ取組として高く評価される。
企業・団体の部 (5件5団体)	NPO向け各種助成制度等による地域貢献活動	九州労働金庫	助成金や寄附、融資等でNPOの活動を財政面から支援する取組。預金利息の一部に九州労働金庫の拠出金を加えてNPOに助成する制度など、金融機関ならではの豊富でユニークな取組を10年前から継続的に実施している。この活動は、これからの共助社会を担うと期待されているNPO等の支援に大きな力になるとともに、今後の寄附文化の醸成のための指標ともなる取組である。
	環境助成金・ふくし助成金による地域活動支援	エフコープ生活協同組合	エフコープ組合員のリサイクル活動により生じた収益や善意の募金を財源として、県内で福祉・環境活動を行う団体を助成金により支援する取組。助成金を先払いするなど活用する立場に立った工夫がなされており、12年間で延べ170団体以上が当制度を活用して様々な地域貢献活動を実施するなど、地域に根差した取組として高く評価される。
	JA福岡市青年部 学童稲作体験事業	福岡市農業協同組合青年部	稲作体験などを通じ、子どもたちに食と農の大切さや地域活動の楽しさを伝える取組。 20年以上にわたり地域の子どもたちに稲作体験を続けるとともに、田んぼをフィールドとして地域住民を巻き込むなど地域活性化へ向けた様々な工夫がなされており、高く評価される。
	大学生アーティストによるひらめきアートプログラム事業	九州産業大学アートキャラバン隊	平成14年の大学美術館開館を契機に、芸術活動を通じた交流の場づくりとして、1か月に1回の割合で幼稚園や老人ホーム等を訪問し、芸術教室を開催している。多彩なプログラムを学生自らが企画、運営し、これまでの参加者は延べ1,000人以上にのぼる。学生ボランティアも500人が参加し、開かれた大学の手本というべき取組として高く評価される。
	ボランティア活動支援室による学内ボランティアの支援	西南学院大学宗教部	学内ボランティア団体の活動支援のための取組。平成15年、県内の大学の中でもいち早く活動支援室を設置し、ガイドブックの発行やボランティア入門講座の開催などの学内ボランティア団体の支援や、学生の国際貢献への志を向上させるための海外ワークキャンプを毎年行っている。また組織的な支援を行うため、本格的なボランティアセンターの設置に向けた準備を進めるなどの取組は高く評価される。

■ 共助社会づくり奨励賞（5件7団体）

部門名	活動名	団体名	活動概要及び評価
共助社会づくり 奨励賞 (5件7団体)	「音の鳴るクリスマスツリーづくり」から広がる協働	特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡 株式会社デンソー九州	福岡視覚特別支援学校の生徒たちと共に、視覚障害があっても楽しめる「音の鳴るクリスマスツリー」の制作を行う取組。株式会社デンソー九州の社員が、日頃触れ合う機会が少ない視覚障害者の方々とコミュニケーションを図ることで理解を深め、社の内外に周知することで視覚障害者のおかれている環境を多くの人に知ってもらい、賛同を得ている。この取組をきっかけに、同校で実施されている「ハーブガーデンづくり」活動にも社員ボランティアが参加するなど、学校・NPOとの協働による活動が拡大している点は高く評価される。
	地域課題解決に向けた高齢者の能力活用事業	特定非営利活動法人NAP福岡センター 福岡県福祉労働部新雇用開発課	コミュニティビジネスに関心がある団塊世代の地域ネットワークを形成し、退職者による起業の土壌づくりを行う取組。 県が広報活動の支援や事業全体の企画を担い、NAP福岡センターが県内11地域でビジネスセミナーを開催。セミナーの参加者数は361人にのぼった。8つの地域でビジネス交流会へと発展し、7つのコミュニティビジネスが生まれている。団塊・シニア世代がコミュニティビジネスを作り出す契機となるとともに、本事業の経験を生かしNAP福岡センターが「新現役コミュニティカレッジ」を開講するなど、活動を発展させている点が高く評価される。
	支援センターによる学生支援を通じた地域社会との連携	福岡県立大学附属研究所 社会貢献・ボランティア支援センター	大学内にボランティア支援センターを設置し、学生のボランティア活動を支援する取組。 情報提供だけでなく、ボランティア活動を希望する外部団体や学生の登録制度を導入し、活動に参加できる環境づくりのための交渉を行うなど、学生が安心して社会貢献・ボランティア活動に取り組める仕組みを構築した。開設から1年余りで外部から75件の依頼があり、254人の学生がボランティア参加するなど、積極的な活動が高く評価される。
	女性がん患者へのウィッグ提供	ウィッグリング・ジャパン	抗がん剤治療の副作用で脱毛に悩む女性患者のために、ウィッグ(かつら)を無料で貸し出す取組。全国に呼びかけており300個のウィッグの提供があり、利用者は100人にのぼる。ボランティアスタッフである元がん患者による心のケアも行われている。女性がん患者が、使用していたウィッグをがんと闘う勇気のバトンとしてリングのようにつなげていく活動であり、高く評価される。
	無形民俗文化財の記録・発信による地域活性化事業	特定非営利活動法人無形民俗文化財アーカイブズ	失われつつある地域の無形民俗文化財を映像化し、地域の活性化を目指す取組。 全国各地に伝わる無形民俗文化財を、プロカメラマンの技術を応用し、地域の撮影ボランティアの協力のもと動画によるDVD化を行う。映像化した無形民俗文化財による地域PRや、撮影ボランティアによる広報力を活用した地域の活性化を目指す。消滅の危機にある無形民俗文化財に着目し、地域の人々の協力を得ながら映像による「見える化」を進める活動は高く評価される。